



HDD装置部門 藤沢事業所へ 業務移管に伴う大量異動発生

日立GST小田原

苦戦する日立

世界的にHDDの需要が増すなか、最大手の米シーゲート社は売上・利益とも過去最高を記録し、日本の各メーカーも利益をのばしています。その様な中「日立だけが低調」といわれ、HDDの赤字から抜出せないでいます。

低迷の原因は旧IBMと日立とのHDDの業務統合が進んでいないのが要因のひとつとされ、小田原でのHDD業務を藤沢事業所に移動し生産拠点の見直しが進んでいます。

異動は本人の 要望を第一に

日立GSTジャパンは現在、小田原、藤沢の2拠点で開発設計・試作等を行ってきました。

今般、HDD装置開発の中心である旧IBM部隊に小田原のHDD装置の設計及び関連部門を本格的に一体化しようというものです。

その人員はすでに異動された180名余を含め400名に達する大量異動となります。異動にあたっては個別の事情を考慮するが、原則例外なしとしています。

長時間通勤となるため、やむをえず転勤や別居を選択せ

気になること

ざるをえない組合員も、その対応事例も出されています。

また子育て中の女性、介護者を抱える家庭、箱根や沼津方面からの通勤者も多く、各人がクリアしなければならぬ難題、課題も多岐にわたっています。

なお、小田原事業所ではヘッド・メディア部門の開発設計・量産試作が引き続きおこなわれます。

私は、約3年前にリストラされ転職がうまくいかず、今ではいろいろなアルバイトをしながら食い繋いでおります。

時々、朝の4時ごろHSP側の道路を車で通過することがあります。上の方の階に電気が点灯しており、今日は徹夜かなと思いつきながら車で通過していると、黒っぽいスーツを着たキャリアウーマンのような女性が一、HSPから出てきました。

急ぎ足で巡礼街道の方へ歩いていきました。私は驚きと同時に日立も様変わりしたなと変に納得してしまいました。大丈夫かなと心配もしております。

(心配性のA夫)

ひろば掲載URL <http://www.hitachikon.net/hiroba>

家計を直撃サラリーマン増税



郵政民営化選挙が終わって、定率減税廃止をはじめ政府税調の示すサラリーマン増税が日程にのぼっています。

07年には景気回復の減税措置であった定率減税の廃止を明記し、サラリーマン増税といわれる給与所得控除の半減、配偶者控除・扶養控除・特定扶養控除等が廃止の方向で検討されています。

下図のように、年収500万円での試みでは、改悪後は所得税だけで24.5万円、住民税と合わせ42万円の増税となることが試算されています。

06年には定率減税半減、つづけて全廃することが流れとなっており、所得税だけで06年度2.39万円の増税となります。

給与年収が減りづつけるなか、一ヶ月分の給与に相当する金額の増税はたいへんな負担です。

増税阻止の運動とともに06年春闘はベアの要求も必要ではないでしょうか。

【現在】 年収500万円の場合							所得税 11.9×20% =【9.52万円】
給与所得 控除 154万円	社会保険料 控除 50万円	基礎 控除 38万円	配偶者 控除 38万円	扶養 控除 38万円	特定扶養 控除 63万円	課税所得119万円 × 税率(10%) =11.9万円	
↓ 廃止 ↓ 廃止 ↓ 廃止 ↓ 廃止							所得税 =【34万円】
給与所得 控除 77万円	社会保険料 控除 50万円	基礎 控除 38万円				課税所得335万円 330万円まで税率(10%) 330万円×10%=33万円 5万円×20%=1万円	

湘南の海

「差別や偏見のない、明るく働きやすい快適な職場をつくりましょう」をテーマに、先日社内教育がおこなわれました。▼思想信条、宗教、同和問題、障害者、いじめ、セクハラ、人種差別、国による文化の違い等々、多岐にわたる内容でした。

▼具体的には、同和問題を取りあげ、なぜ部落差別がおきたのか、歴史的に解き明かされ、日立が過去の誤りとして、全国「被差別部落地域」名が記された書籍を購入し、社会的に糾弾された事例が紹介され、商談・面接時の心得が話されました。また、セクシャルハラメントに関して「相手が不快と感じること」「嫌がること」はしないなど、具体例を交えての話でした。

▼差別や偏見が引き起こす、会社のイメージダウンや、グローバル化する事業の中で訴訟を起こされ、莫大な賠償金を命じられた判例なども紹介され、いまや人権問題は企業にとつて避けて通れないテーマとなっています。

▼赤字、火事、アリの三赤追放のいわれのない思想攻撃や、宗教施設を使つての社員教育、伊勢神宮で五十鈴川に身をさらす「みそぎ」研修など、どう反省し改善するのでしょうか。

